



ポスターで全国の小4の頂点に

こうのみちと
河野通斗くん (10歳)



まちの話題

公益財団法人 明るい選挙推進協会が毎年、全国の小中高生を対象に開催している「明るい選挙啓発ポスターコンクール」をご存じですか。

今回は、今年度、このコンクールで文部科学大臣・総務大臣賞を受賞した音貝小学校4年生の河野通斗くんに話を聞きました。

1万1,000人の頂点に

明るい選挙啓発ポスターコンクールは、今年度で67回を迎えた歴史あるコンクールです。豊かで幸せな生活の実現に向け、明るく正しい選挙を呼びかけるポスターを募集しています。

コンクールでは毎年、小学生の各学年1人と、中学生・高校生の各学年2人が最優秀賞である「文部科学大臣・総務大臣賞」に選ばれます。

今年度、小学生の部に応募した児童は6万7,648人。あくまで概算ですが、通斗くんは、全国の小学4年生、約1万1,000人の頂点に立ったのです。

5時間かけて完成

通斗くんの作品は、65匹の魚が形作る「大きな魚」が印象的な作品です。体の左半分を黄緑色の魚が、右半分を青色の魚が、尾びれをオレンジ色の魚が担当し、

黒い魚が目の役をしています。背景は黄色で、「ひとりの一票 大きな力」という標語は赤色です。

普段から絵を描くのが好きだという通斗くん。ポスターの題材に魚を選んだ理由を尋ねると「人を描くのは好きじゃない。魚はいろんな種類がいて興味深いし、食べるのも好きだから」と教えてくれました。

ポスターに魚を描くというのは決めていたものの、絵柄や標語がなかなか決まらず、何度も案を描いたといいます。デザインがやっと決まると、本番の画用紙に下絵を描き、5時間かけて1日で完成させました。

「小さな魚で大きな魚を作ると、小さな魚がみんな同じ種類に見えるように描くのが大変だった。大きな魚の背びれと尾びれがきれいに描けたから、そこが一番気に入ってる」

黄色が好きに通斗くん。とにかく明るくカラフルな作品にしたかったそうです。

驚きの受賞

通斗くんの受賞に沸き立ったのは、本人より両親の方でした。ホームページで受賞を知り「大変だ!」と慌てる両親の隣で本人は「大臣賞ってすごいじゃない?」と首をかしげていたといいます。

通斗くんの作品は、最終審査で「言葉と形や色の視覚的な表現の両方をうまく組み合わせて、明るい選挙を大切にすることを伝えている」と評価されました。

愛知県選挙管理委員会では、通斗くんら受賞者の作品を印刷したクリアファイルを作り、今後、各種イベントで配布する予定です。

来年も応募したい

全国の4年生のトップに立った通斗くんですが「大きな魚のまわりにいる生き物は、もっと上手に描けたと思う」と自身を厳しく評価します。

好きな教科は、図工と理科と算数。絵だけでなく工作も大好きで、少年少女発明クラブに所属し、電池やモーターで動く作品づくりに夢中です。

将来は画家か発明家か、と思いきや本人は「探検家になって、珍しい物を発掘したい」と話します。

「来年も再来年も選挙ポスターを描くつもり」と今から意気込む通斗くん。来年の作品が早く見てみたいですね。

